

デジタル変革を成功に導く、超上流工程の進め方



エクシオグループ 株式会社

ビジネスソリューション事業本部

〒150-0002東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号

www.exeo.co.jp

©2021 EXEO Group, Inc. All rights reserved

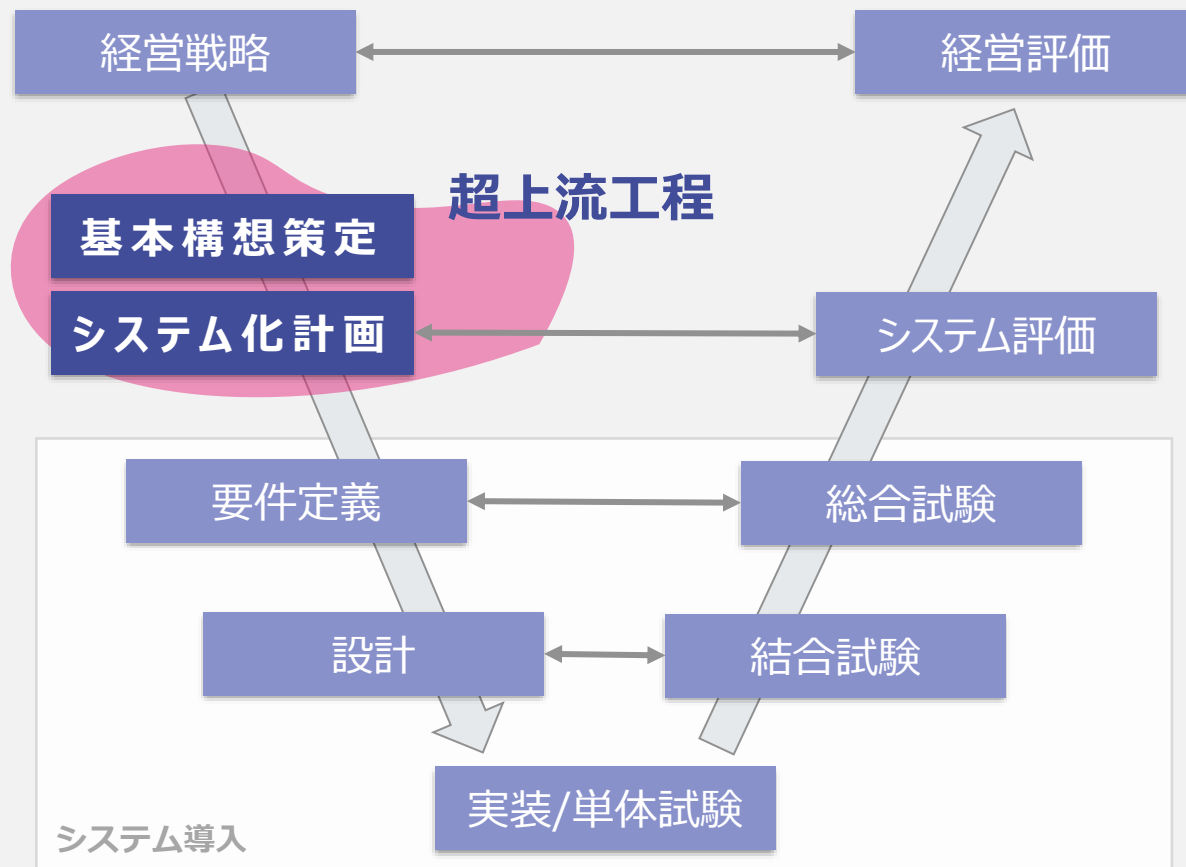
A large pink shape, resembling a stylized arrow or a corner, points towards the bottom left from the top center. A blue shape, also resembling a stylized arrow or corner, points towards the bottom right from the left edge.

超上流工程における課題とは

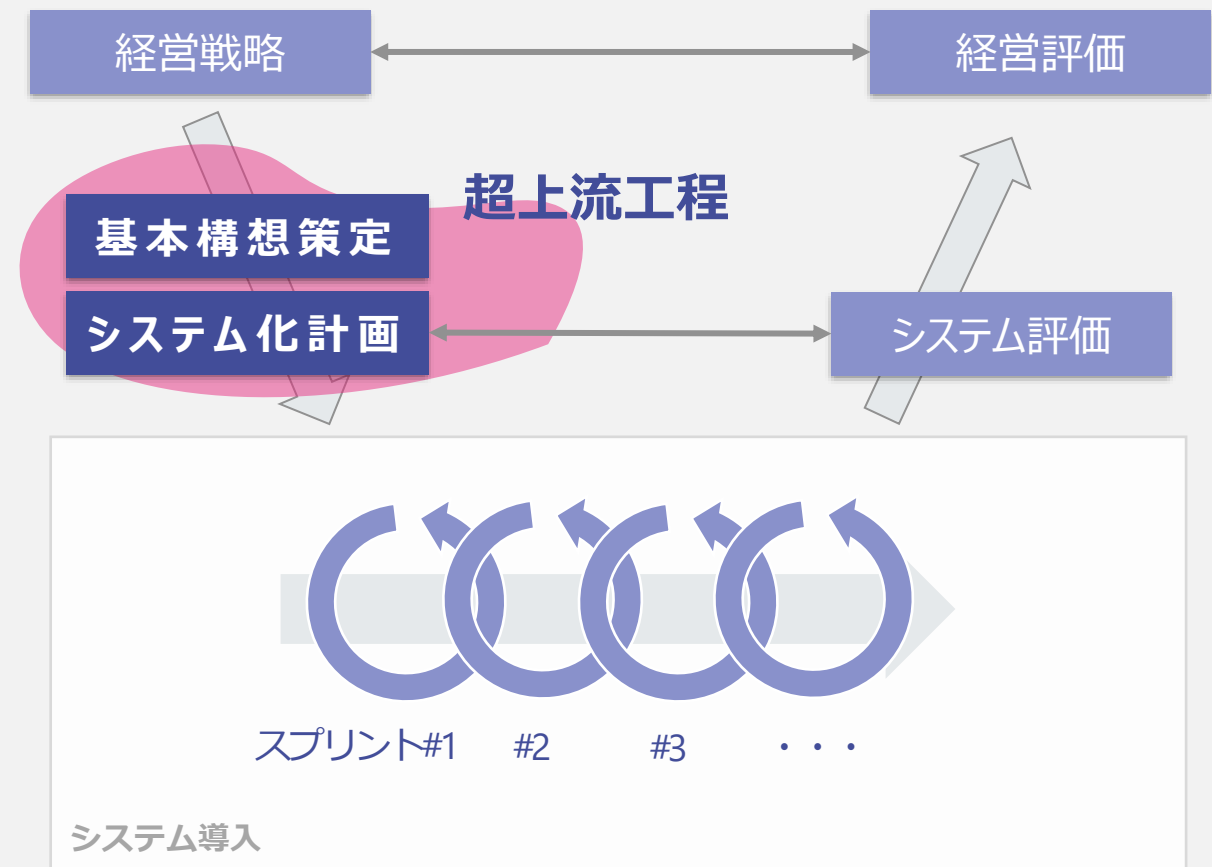
超上流工程とは

超上流工程とは、“そもそものやりたいこと”や、“そのために必要な計画”を明確にするフェーズ。
超上流工程の必要性は、ウォーターフォール型でもアジャイル型でも変わらない。

ウォーターフォール型



アジャイル型



1 一度は取り組んだプロジェクトが上手く進まない

- 経営課題を解決するために取り組んだが（業務を知って問題を把握）、具体的な解決手段がわからない。
- 自分たちで関係部署に教えてもらおうとしたが、時間がかかり非効率、積極的に対応してもらえない。

2 合意形成に時間がかかる

- 報告・稟議のGateを通すために説得感のある資料を作成するが時間がかかるし、そもそも書いた経験があるメンバーが少ない。

3 業務に合わないシステム

- システム構築を目的にしていたため、システム要求しか聞いておらず業務に合わないシステムが出来上がってしまった。

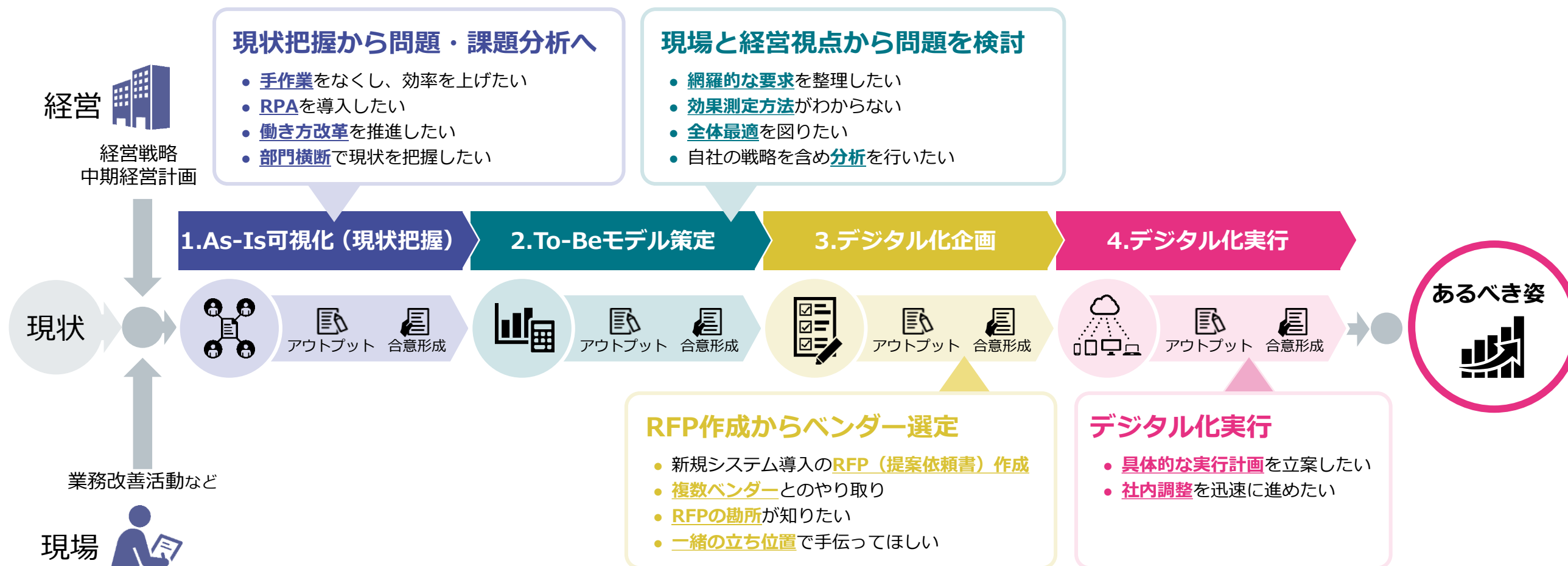
A large pink shape, resembling a stylized arrow or a corner, points towards the bottom left from the top center. A large blue shape, also resembling a stylized arrow or corner, points towards the bottom right from the left edge.

超上流工程の進め方

あるべき姿を示すアウトプットを導き出し、確実な合意形成からデジタル化を実現



ステップ毎に可視化された成果物（アウトプット）を見せることで、議論を促進し、ステークホルダ間の合意形成を確実に行う。



デジタル化企画を導くまでの活動イメージ

部門横断での協議では、第3者の視点をいれた中立な立場でのファシリテートが、お客様にとっての最適解を導きます。

As-Is可視化（現状把握）

ヒアリングセッション

コンサルタント



製造課
品質管理
購買

部門横串で業務を可視化

問題分析ワークショップ

製造課



品質管理

購買

一体感が生まれ他部署への意識
が変わり協力体制が築けます

コンサルタント



製造課

購買

部門横断で協議する場を中立的な立場でファシリテートします

To-Beモデル策定

経営

あるべき姿



現場

網羅的な要求

企業の中長期基本戦略事業の基本戦略など

生産効率、コスト削減、改善活動など

現場と経営視点から問題を検討します

デジタル化企画

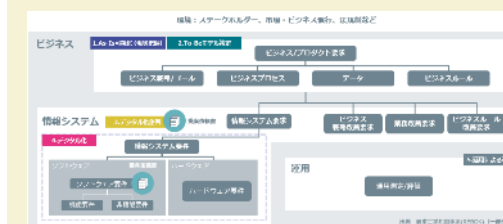
要求の分類

情報システム要求

ビジネス戦略改善要求

業務改善要求

ビジネスルール改善要求



要求を網羅的に定義します

第3者による可視化のメリット



可視化（ドキュメント化）する作業において、お客様が単独にて対応するよりも、第3者が介入した場合のメリット

貴社業務を熟知していない者が現状を深掘りすることで **暗黙知を形式知** にできます。

- 利害関係部署を横串でヒアリング（会議体）し、会議をファシリテートします。
- 部分最適から俯瞰した全体最適を目指せます。

第3者に業務を話す（ヒアリング）ことで **曖昧さがなくなり**、気づきが生まれます。（問題の顕在化）

- モデリングツールを利用し、理解できる（ルールがある）業務プロセス図を作成できます。
- 組織風土や組織や会社のセクショナリズムに影響されず、他社事例も含めた議論を促進します。

業務だけでなく、情報（データ）、機能を可視化し、**業務とITの視点を融合** できます。

- 豊富なシステム構築経験からITを含めた可視化を実現できます。
- 他社との業務、システム構成の助言を行うことが可能です。

“可視化”と“合意形成”が、超上流工程の困りごとを解決する



超上流工程での困りごと

1 一度は取り組んだプロジェクトが上手く進まない

- 経営課題を解決するために取り組んだが（業務を知って問題を把握）、わからない 自分たちで関係部署に教えてもらおうとしたが、時間がかかり非効率、積極的に対応してもらえない。

2 合意形成に時間がかかる

- 報告・稟議のGateを通すために説得感のある資料を作成するが時間がかかるし、そもそも書いた経験があるメンバーが少ない。

3 業務に合わないシステム

- システム構築を目的にしていたため、システム要求しか聞いておらず業務に合わないシステムが出来上がってしまった。

超上流工程での困りごとを解決する



最短2ヶ月で業務の可視化を実現

- 計画的に進めることが可能（テンプレートの適用）、想定期間より短くできる



お客様の隣で一緒に社内向けの資料（企画書、稟議書）を作成

- 実績を積んだ人員が支援（サポート）



要求を網羅的に抽出することで後戻りがなくなる

- 現場と経営からの問題抽出、部門横串で業務を可視化



一体感が築け、他部署への意識が変わり協力体制が築けます

- セッション、ワークショップを通じ部門横断の協議する場を中立にファシリテート

A large pink shape, resembling a stylized arrow or a corner, points from the top left towards the center. A large blue shape, also resembling a stylized arrow or corner, points from the bottom left towards the center. These shapes frame the central text.

超上流工程をご支援する ソリューションのご紹介

【無料】ソリューション解説資料のご紹介



業務プロセス改革ソリューションご紹介



©2020 Kyowa Exeo Corporation All Rights Reserved.

業務プロセス改革のための
専門ソリューションについての
資料をお読みになりませんか？



資料請求はこちらをクリック





Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

